

日本天文学会1997年秋季年会講演予稿執筆要領

講演を申し込まれる方は、裏面の形式にしたがって、1997年7月9日(水)必着で、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、下記までお送りください。
申し込み期間が前回より早くなっていますのでご注意ください。

〒181 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

講演の申し込みにあたっては次のことに注意してください。

●題目関連

- (1) 1講演につき1部提出してください。2講演以上申し込まれるなど用紙が不足する場合には、必要枚数を明記の上、上記日本天文学会まで用紙を請求してください。
- (2) 分野、講演題目、氏名、所属などは左詰めで記入してください。さらに、分野、筆頭講演者氏名とひらがな表記、会員番号を右1箇所記入してください。
- (3) 氏名(所属)はスピーカーを筆頭におき、所属ごとにまとめて書いてください。
- (4) 筆頭講演者の会員種別に○をつけてください。
- (5) 発表形式を1つ選び、○をつけてください。ただし、口頭発表(10分)は同一筆頭講演者につき1件のみ受け付けます。
- (6) ビデオ機器(VHS方式)を用意します。希望者は有に○をつけてください。ビデオは10分講演のみ使用できます。
- (7) 非会員の方は右下の所定の欄に電話番号・ファックス番号・メールアドレスを記入してください。

●本文

- (1) 分野欄には次の項目の中から1つ選び、記入してください。また、2~3個のキーワードを自由に選び、括弧書きで付記してください。
J.位置天文学, K.天体力学, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星形成, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, X.情報処理, Y.天文教育・その他
- (2) 氏名の下の大空欄に黒で明瞭に予稿原稿を書いてください。枠線をはみ出したものの印刷は保証できません。この原稿を90%程度に縮小して印刷します。
- (3) 委員会切断用の破線にまたがって印字しないでください。
- (4) 別紙に印刷したものを貼り付ける場合は、粘着テープなどを使わず、糊で確実に貼ってください。

●e-mailでの予稿受け付けについて

受け付け期間：7月4日朝9時～7月10日朝9時

- (1) e-mailでの予稿の書き方、送り方、およびフォーマットはtennetを通して連絡します。tennetから直接情報入手できない方はtennet加入者にお聞きください。直接学会への問い合わせにはお答えできません。
- (2) 郵送とe-mailとの二重の申し込みは固くお断りします。
- (3) e-mail投稿はミスがないかを十分確認のうえ、1回だけ投稿してください。再投稿はできません。

記入例

(年会実行委員長 加藤万里子)

日本天文学会年会予稿原稿用紙 (記入にあたっては裏面を参照のこと)		分野 恒星
筆頭著者名 <small>(漢字、外国人はアルファベット)</small> 栂区 封子		姓 <small>(ひらがな、外国人はアルファベット)</small> かき
名 <small>(ひらがな、外国人はアルファベット)</small> 封子		名 <small>(ひらがな、外国人はアルファベット)</small> かき
会員種別 <small>(該当するものに○)</small> <input checked="" type="radio"/> 正会員 <input type="radio"/> 準会員 <input type="radio"/> 非会員		会員番号 <u>0523</u>
発表形式 <small>(該当するものに○)</small> <input checked="" type="radio"/> a. 口頭発表(10分) <input type="radio"/> b. 口頭(3分) + ポスター ビデオ使用 <small>(10分講演のみ)</small> <input type="radio"/> 有 <small>(該当するものに○)</small>		発表形式 <small>(該当するものに○)</small> <input checked="" type="radio"/> a. 口頭発表(10分) <input type="radio"/> b. 口頭(3分) + ポスター ビデオ使用 <small>(10分講演のみ)</small> <input type="radio"/> 有 <small>(該当するものに○)</small>
会員種別が非会員の場合のみ 連絡先 電 話： ファックス： メールアドレス：		会員種別が非会員の場合のみ 連絡先 電 話： ファックス： メールアドレス：

左詰め

恒星(ブラックホール、スペクトル)

日本天文学会
1997年秋季年会

ブラックホール候補天体サーベイ

左詰め

栂区封子(国立天文台), Warshawski, V.I.(東大総合文化)

これまでブラックホール候補といわれている天体は10余見つかっているが、そのほとんどはスペクトルの時間変動などの状況証拠に基づいており、決定的な証拠に欠ける。そこで我々はブラックホール候補を見つけるためのサーベイを行ない、ブラックホールの決定的特徴をあぶり出した。サーベイは、昨年打ち上げられた、ブラックホール候補探索専用X線天文衛星「なら」を用い、光学同定およびスペクトルは光学宇宙望遠鏡「へいあん」により行なった。その結果、カメレオン座に101個のブラックホール候補天体を発見、そのうち光学的に同定されたものは83個であった。それらのスペクトルの特徴から、ブラックホール候補天体を大きく二つのグループに分ける新基を導いた。

第一のグループは、...

日本天文学会年会予稿原稿用紙
(記入にあたっては裏面を参照のこと)

分野

筆頭著者名 (漢字、
外国人はアルファベット)

姓 (ひらがな、外国人はアルファベット)

名 (ひらがな、外国人はアルファベット)

会員種別 (該当するものに○)

正会員・準会員・非会員

会員番号 _____

発表形式 (該当するものに○)

a. 口頭発表 (10分)

b. 口頭 (3分) + ポスター

ビデオ使用 (10分講演のみ)

無・有 (該当するものに○)

会員種別が非会員の場合のみ

連絡先

電 話:

ファックス:

メールアドレス:

切り取り無効

切り取り無効

左詰め

分野 (キーワード)

日本天文学会
1997年秋季年会

左詰め

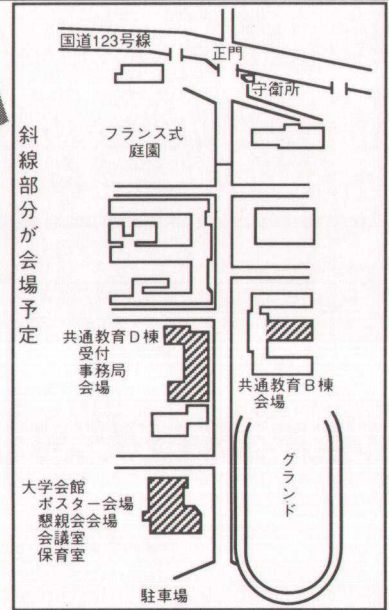
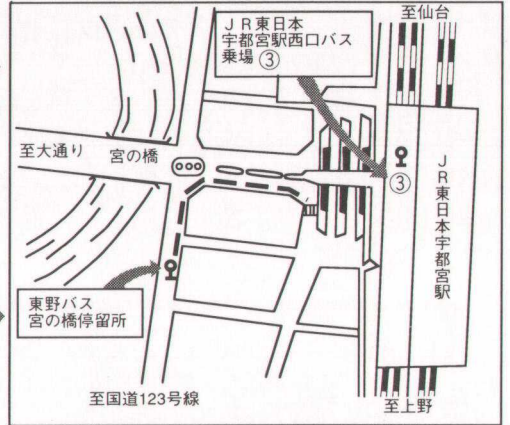
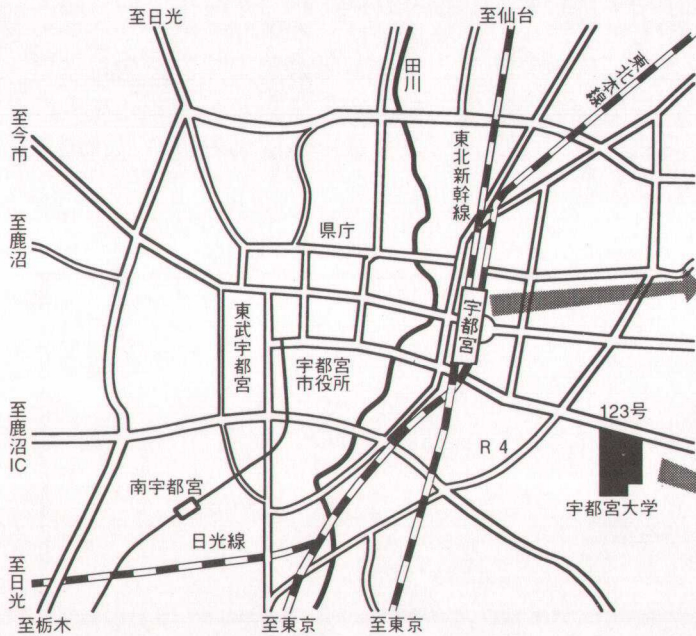
題名

左詰め

氏名 (所属)

切り取り無効

秋季天文学会会場（宇都宮大学）のご案内



宇都宮大学への交通（JR宇都宮駅から2.2 km）

- うばがい もてぎ
 - JRバス（祖母井，茂木行きなど）
JR 宇都宮駅西口バス乗場 ③ から乗車 10分
「宇大前」下車
 - とうや もおか ましこ
 - 東野バス（真岡，益子，シンガー日鋼行きなど）
JR 宇都宮駅西口から徒歩2分の「宮の橋」停留所
で乗車10分「宇大前」下車

秋季天文学会宿泊等のご案内

平成9年9月29日(月)～10月1日(水)にかけて宇都宮大学で開催される天文学会の宿泊を、宇都宮大学生協がお世話いたします。

○宿泊ホテル

ホテルサンシャイン (Tel: 028-633-0123)

シングル1泊朝食付
7,150円 (税別/サービス料込み)

ツイン1泊朝食付
7,000円 (1人: 税別/サービス料込み)

ホテルフェアシティ (Tel: 028-632-7777)

シングル1泊朝食付
11,000円 (税別/サービス料込み)

ツイン: なし

場所は両ホテルともJR宇都宮駅東口徒歩3分。
料金は予約確認後宇都宮大学生協へお振り込み下さい。
税金はチェックアウトの際、ホテルで清算となります。

○申し込み方法

宿泊希望の方は、下記の事項をFAXまたはE-mailにて宇都宮大学生協へお早めにお申し込み下さい。

- (1) 氏名 (漢字/ふりがな)
- (2) 連絡先: 住所/電話番号/FAX番号

- (3) 宿泊日
- (4) 希望ホテル名

○申込先

宇都宮大学生協プレイガイド

TEL: 028-636-2144

FAX: 028-634-9648

E-mail: kotaki@mx.meshnet.or.jp

(担当: 小滝)

申込後、予約確認書/振込案内書/ホテル案内を郵送いたします。

○申込期限

9月5日(金)迄にお申し込み下さい。

○取消料について

宿泊予約後、キャンセルされる場合は下記の料率で取消料がかかります。

不泊/当日取消	100%
前日	30%
4日前～2日前	20%
5日前～10日前	10%

日本天文学会年会旅費補助について

日本天文学会は、年会の出席旅費の補助を行います。希望者は、該当する年会の申込締切日までに下記の用紙に記入の上、申請して下さい。応募資格は、本年度までの学会会費完納者で筆頭講演者（ポスター講演を含む）に限ります。また、年会発表時に正会員（学生）であって、正式の給与（日本学術振興会特別研究生としての給与などを含む）を受けていない者とします。今回、準会員から正会員（学生）への移籍を希望する場合は、締切当日までに会費差額分の納入と申請手続きを終了して下さい。

社団法人 日本天文学会理事長

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。なお、年会会期終了までに受付においでにならない場合は、補助を辞退されたものとして処理しますので、ご注意下さい。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙を複写したものを使用しても構いません。
4. 申込は日本天文学会 181東京都三鷹市大沢2-21-1 まで郵送またはFAXでお願いします。締切は1997年7月9日（水）必着です。
なお、電子メールでの申請は受け付けていません。

-----キリトリ-----

年会旅費補助申請書

199 年 月 日

社団法人 日本天文学会
理事長殿

(フリガナ)
申請者氏名 _____ 会員番号 _____

連絡先 _____

電話 (- -)
FAX (- -)

日本天文学会年会において研究発表を行うための出席旅費の補助を申請します。

所属機関名		身分・学年	
分野 発表研究題目			
発表者氏名 (全員)			
出発地			
参考事項			